

議決権行使レポート

証券コード 6333

会社名 株式会社帝国電機製作所

	賛成	反対	棄権
第1号議案 剰余金処分	○		
第2号議案 取締役(監査等委員である取締役を除く。)5名の選任			
頃安 義弘 氏	○		
村田 潔 氏	○		
佐藤 哲造 氏	○		
加減 孝司 氏	○		
渡真利千恵 氏	○		
第3号議案 取締役(監査等役員である取締役を除く。)の報酬等改定	○		

上記の推奨をした理由

○第1号議案について：賛成

まずISSが示す議決権行使助言基準の観点から、15～100%という基準を満たし続けているため配当性向は過去5年間を通して適当な数値にあり、今期についても同様のことがいえるため賛成としたい。また、近年の1株当たり配当額の増額は売上高及び営業利益等の増加を背景にしていると捉えることができるため、企業の財務健全性の観点を踏まえても今期の剰余金処分の内容は妥当なものであると考えた。(図表1)

加えて、御社が今期中に自己株式消却を行っていたことから今後市場における株価の上昇が起こる確率が高く、それに伴う配当利回りの維持及び向上の観点から見ても適切な配当額の設定だと考えた。

以上の観点から第1号議案に賛成する。

〈図表1：過去5年間の1株当たり配当額(年間)、配当性向、株価、配当利回り〉

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
1株当たり配当額(間)(円)	24	36	36	50	116
配当性向(%)	46.7	22.5	30.5	48.4	54.0
株価(3月末時点)(円)	1124	1313	1322	1574	2452
配当利回り(%)	2.1	2.7	2.7	3.2	4.7

○第2号議案について：賛成

まずISSが示す議決権行使助言基準の観点から、過去5期平均のROEが5%を上回っているため(図表2)、十分な資本生産性が確保されていることが明らかである。また今期から新たに女性であり、社外取締役でもある渡真利千恵氏が候補者として挙げられていることから、取締役会内の女性及び社外取締役の比率の改善も十分に図られていると考えられる。各取締役のスキルマトリックスを参照すると、渡真利千恵氏が新たに就任された場合にこれまでと比較してより補完性が充実することが推測されることも考慮に入れた。加えて、渡真利千恵氏が女性活躍推進委員会の委員長を務めておられた経験をお持ちということで、取締役会内だけでなく社内全体として女性管理職の比率を増やすといった時代のニーズに合った変化を取り入れることも可能になるだろうと推察する。

今期も取締役を務めた他の4名については、今期までの財産及び損益の状況を参照すると前年度やそれ以前の過去と比較しても大きい数値の伸びが見られるため、続投が望ましいと考えた。

以上の観点から第2号議案に賛成する。

〈図表2：過去5年間のROE〉

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	5期平均
ROE(%)	4.1	12.2	8.4	6.8	13.1	8.92

○第3号議案について：賛成

渡真利千恵氏は御社に女性取締役、社外取締役という新たな要素を2つ導入することを考えると、今後御社に様々な変化をもたらすきっかけとなるだろうと推察することができ、企業内で果たす役割は将来的に増大していくと考えるのが妥当である。よって、初期の報酬限度額が他の役員よりも低く設定されることも問題点はないと考える。

また、東証第1部に上場する企業の社外取締役の報酬額の平均が年663万円である(2018年、朝日新聞、東京商工リサーチ)というデータを参考にすると、少々古い情報とはなってしまうが、報酬限度額は平均よりも高く設定されている可能性が高いと考えられるため、この観点からも改定は適切なものであると考える。

以上の観点から第3号議案に賛成する。

○参考文献

- ・ISS(2023). “2023年版 日本向け議決権行使助言基準”
- ・朝日新聞(2019). “社外取締役、報酬は年平均663万円 兼務で高額報酬も” .
朝日新聞デジタル.2019-2-14

<https://www.asahi.com/articles/ASM247JMQM24ULFA033.html> (参照 2023-06-25)